

# 跡倉のフェンスター（地窓）

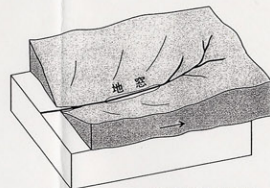
Fenster at Atokura

地球の窓探索コース

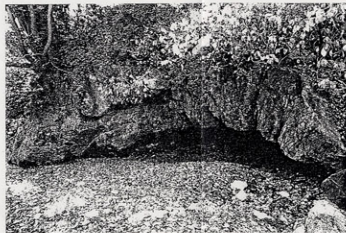


私たちの立っている道路面は、大崩山からつづく跡倉層（8千数百万年前の白亜紀後期）の砂岩ですが、前の青倉川の川底は緑色片岩です。川底においてみると、水平の断層面を境に、両者が接しているのが見られます。緑色片岩には、押しつぶされてできた細かい割れ目がいっぱいできています。これは根なし山をつくっている岩体が、地殻変動で緑色片岩の上をずり動いてきたときのきずあとです。

この断層は、下流の跡倉橋あたりまでつづき、両岸の崖で何ヶ所か観察できます。それを地図に書きこんでみると、青倉川により跡倉層がけずりとられ、下にある緑色片岩が川底だけに見えることがわかります。まるで地面に細長い窓が開けられ、地下が見えるようなので、この構造をフェンスター（ドイツ語で「窓」の意味）または地窓といいます。



地窓のできかた



左岸の断層のようす



右岸の断層のようす